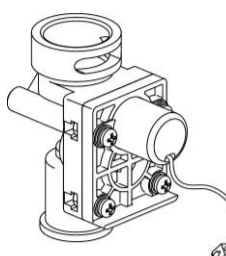
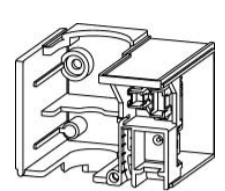


ジェットボウル用 補給部品：電磁弁機能本体部

A-5626-10 本体ケースASSY
A-4241-40 電磁弁ASSY

対応製品品番
(G)L-C11A1 (G)L-C11A2 (G)L-C11A3
(G)L-C11W1 (G)L-C11W2 (G)L-C11W3
(G)L-C21A1 (G)L-C21A2 (G)L-C21A3
(G)L-C21W1 (G)L-C21W2 (G)L-C21W3

構成部品

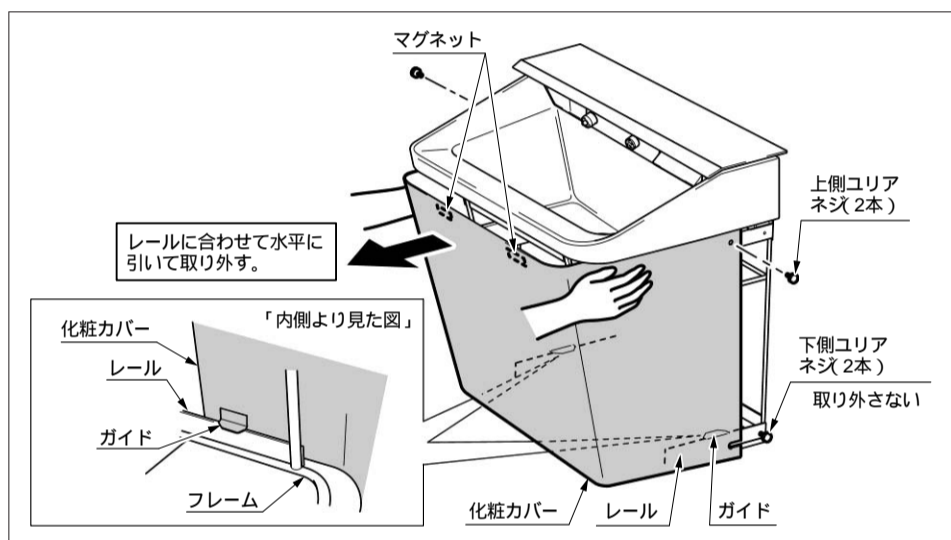
品番	A-4241-40 電磁弁ASSY	A-5626-10 本体ケースASSY
構成		

取替方法

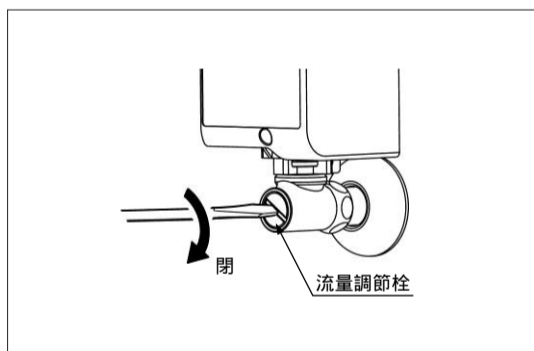
1. 機能本体部の取外し

(1)化粧カバーの取外し(壁掛タイプの場合)

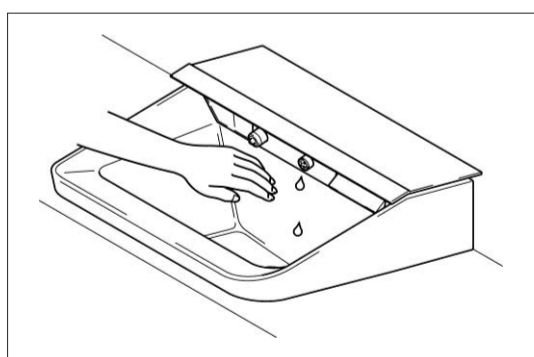
化粧カバーを固定している上側2本のコリアねじを取り外します。
次に下側2本のコリアねじをゆるめます(取り外さないこと)。
化粧カバーは裏側のマグネットとガイドでフレームに止まっていますので、手前に水平に引いて取り外してください。



(2)止水栓の流量調節栓を時計回りに回し、止水します。



(3)吐水用センサー部に手を差し出し、センサーを感知させ、圧抜き、止水確認します。



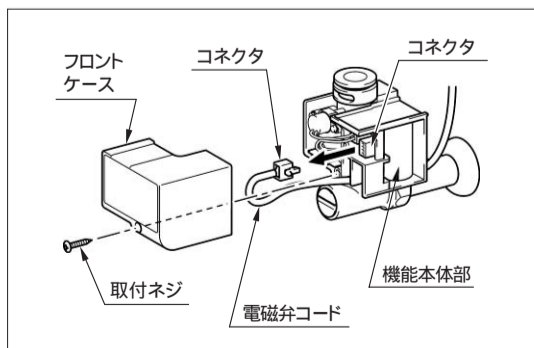
(4)ジェットボウル本体の電源プラグを外します。

電気温水器付の場合は電気温水器の電源プラグも外します。

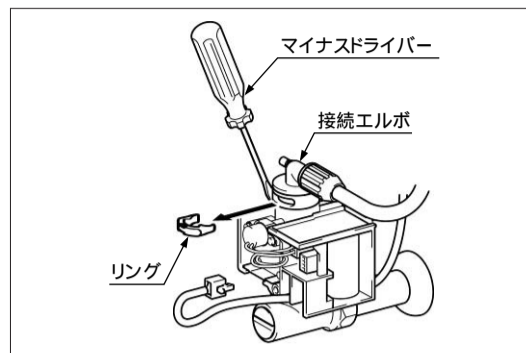
(5)機能本体部の取付ネジ1本を取り外し、フロントケースを外します。

(6)電磁弁コードのコネクタを外します。

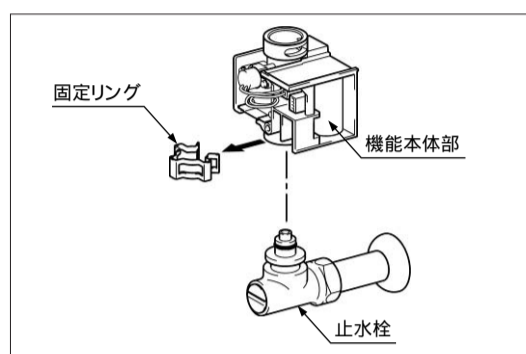
コネクタが濡れないように注意してください。



(7)機能本体部からリングを抜き、接続エルボを外します。
小型のマイナスドライバーでリングを抜き取ってください。
コネクタが濡れないように注意してください。

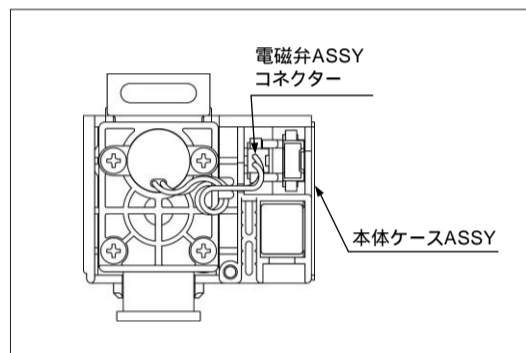


(8)固定リングを外し、機能本体部を止水栓から外します。

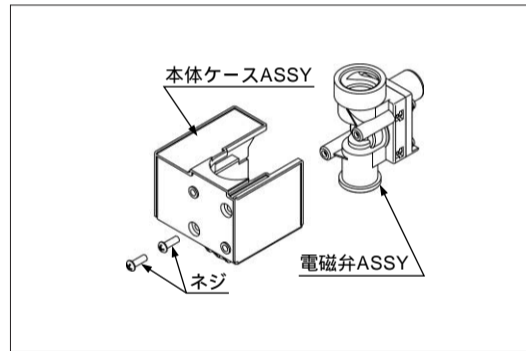


2. 本体ケースASSY、電磁弁ASSYの取外し

(1)本体ケースASSYから電磁弁ASSYコネクタを外します。



(2)固定している取付ネジ2本を外し本体ケースASSYから電磁弁ASSYを取り外します。

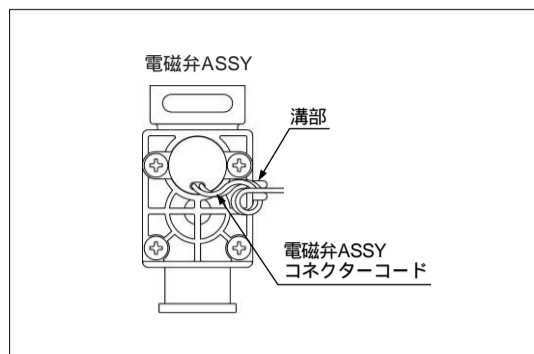


3. 本体ケースASSY、電磁弁ASSYの取替

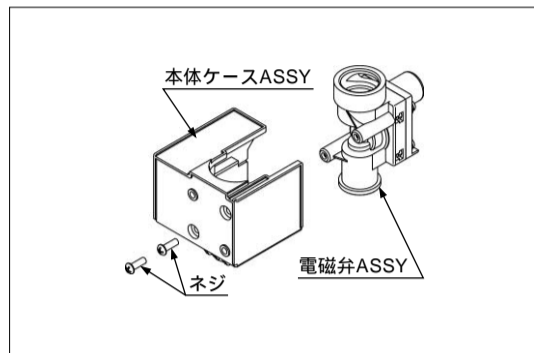
取替品に替えて次項「4.機能本体部の取り付け」の取り付け方法を参照の上、機能本体部を組み立てなおしてください。

4. 機能本体部の取り付け

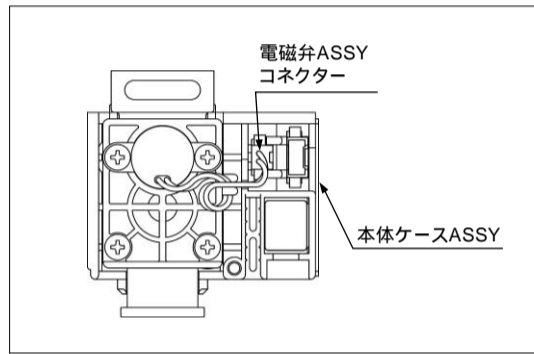
(1)電磁弁ASSYコネクターコードが電磁弁ASSYの溝部にはめ込んでいることを確認します。



(2)電磁弁ASSYを本体ケースASSYに組み付けて背面から2本の取り付けネジで固定します。

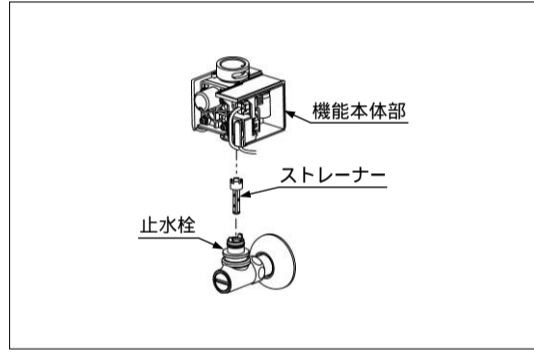


(3)電磁弁ASSYコネクターを本体ケースASSYに差し込みます。電磁弁ASSYコネクターコードは本体ケースASSYに図のように、はめ込んでください。

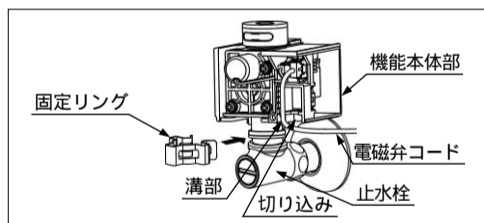


(4)ストレーナーの掃除を行います。ストレーナーに付着したゴミ等を洗い流してください。

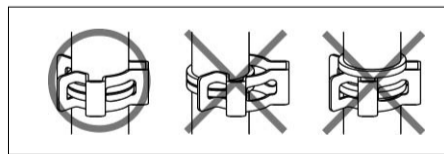
ストレーナーが詰まると流量が少なくなり、十分な機能が発揮されません。必ずストレーナーを掃除してください。



(5)取り外しの逆の手順で機能本体部を止水栓へ取り付けます。機能本体部のカバーを付ける前に固定リングを取り付けてください。電磁弁コードは本体ケースASSYの溝部に沿ってはめ込んでください。



固定リングは確実に接続されていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因になります。

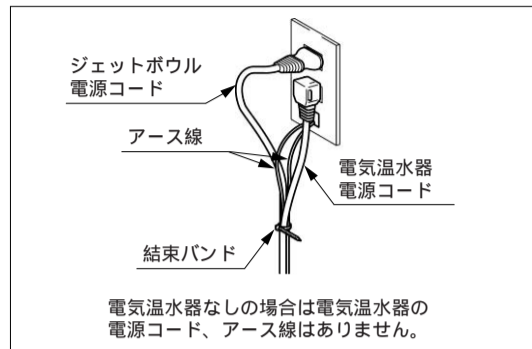


「4.機能本体部の取り付け」が完了したら、「取替後の確認」を行います。確認が完了いたしましたら、「壁掛けタイプの場合」「取替方法 1.機能本体部の取り外し (1)化粧カバーの取り外し」の逆の手順で化粧カバーを取り付けてください。

取替後の確認

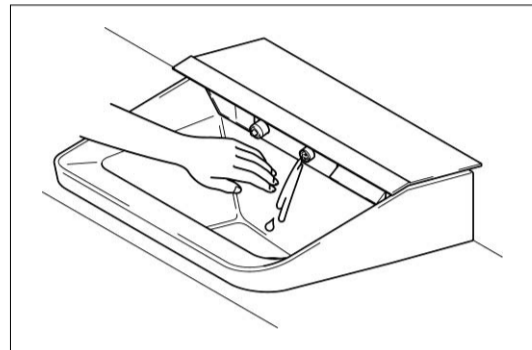
1. 作動確認

(1)ジェットボウル本体の電源プラグをコンセントに、アース線をアースターミナルにそれぞれ接続してください。電気温水器付の場合は電気温水器の電源プラグ、アース線も同様に接続してください。



電気温水器なしの場合は電気温水器の電源コード、アース線はありません。

(2)流量調節栓を反時計回りに回して全開にした後、吐水用センサー部に手を差し出すと水が出て、手を引くと自動的に止まることを確認してください。流量調節栓を一気に全開にしないでください。60秒後吐水が続くと自動的に止水します。



2. 流量の調節

流量調節栓を全開にします。節水のため定流量弁を装着していますので、一定以上の流量(5L/分)は出ません。低水圧の現場で、流量が不足する場合は定流量弁を外して、流量調節栓にて流量の調節を行ってください。各接続部からの漏水がないことを確認してください。

